

# 五浦から世界へ —旅する岡倉の眼差し—



ヴィヴェーカーナンダ



天心・岡倉覚三



イザベラ・スチュワート・ガードナー



ラビンドラナート・タゴール



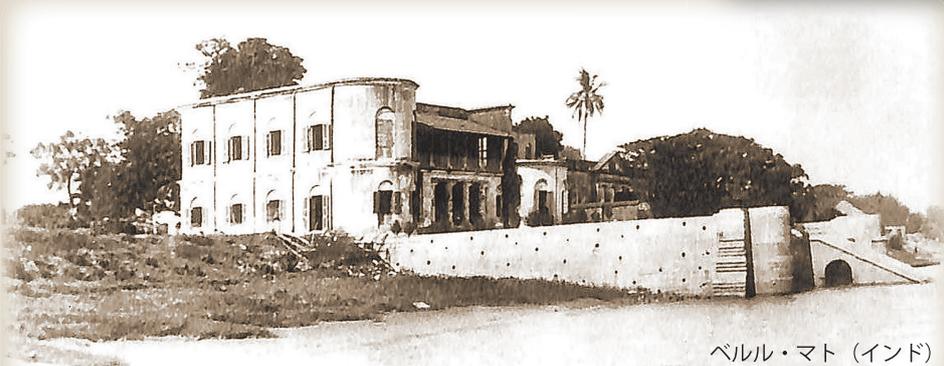
ジョン・ラ・ファージ

11月4日(日)～11月18日(日)

開場時間◎平日 10:00～16:00  
土日 11:00～17:00

入場無料

会場 ◎ 茨城大学図書館 本館 1階展示室



ベルル・マト (インド)



ボストン美術館 (アメリカ)

# 五浦から世界へ —旅する岡倉の眼差し—



アドヴァイタ・アシュラム

岡倉覚三（天心）の年譜をみると、旅に明け暮れた一生であったことがわかります。

美術官僚時代、米国と欧州を1年間旅し、視察の中で新しい日本美術のビジョンを得ました。その方向性は帰国後開校した東京美術学校の教育方針に反映され、日本美術院の理念に引き継がれました。

その後も清やインドの遺跡に足を運び、日本美術とアジアの関係を確信しました。現場での実見をもとに日本美術史を構築し、1903年『東洋の理想』を著しました。

旅先で彼が親しく交わった人々ターヴィヴェーカー

ナンダ、タゴール、ラ・ファージ、ガードナーなどは、岡倉の思想に影響を与え、彼の人脈を広げ、その人生を次のステージへと導いていったのです。『日本の覚醒』（1904年）も『茶の本』（1906年）も旅と出会いの中で生まれたものです。これらの旅を通して岡倉は国際人になっていったのです。

本展覧会では岡倉の海外への旅にフォーカスいたします。旅先で出会ったひと・モノ・コトが岡倉の生涯にどのような光と影を投げかけたのかを考えていただける機会となれば幸いです。



風呂敷



携帯用茶壺



携帯用箸・小刀・鞘



アドヴァイタ・アシュラム（インド）



JR 水戸駅（北口）バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行（栄町経由）」に乗り、「茨大前」「茨大前営業所」で下車。時間帯によっては「茨大正門前」で下車することができます。（バス乗車時間は約25分）

## 関連イベント

11月4日（日）土曜アカデミー 岡倉天心セミナー vol.5

世界の“OKAKURA”誕生

岡倉の最初の英語著作と日本趣味

13:00~15:00

会場：図書館本館3階ライブラリーホール

講師

小林 英美（茨城大学五浦美術文化研究所所員、教育学部教授）

市川 千恵子（茨城大学人文社会科学部教授）

コメンテーター

清水 恵美子（茨城大学五浦美術文化研究所所員、全学教育機構准教授）

問い合わせ先 © 茨城大学図書館 本館

Tel : 029-228-8076 / Fax : 029-228-8078

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

Email : ser-lib01@ml.ibaraki.ac.jp